

【別紙様式】

平成28年度 津山市立北小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数A B・・・Aでは分数・小数の意味や角度の測り方が課題点である。Bでは図形の性質を利用したりやグラフを調べたりして、説明をすることが課題点である。 国語A B・・・Aでは文の構成を考えたり文を分けたり2つの文を1つの文にしたりすることや正確に漢字を書くことが課題点である。Bでは文を要約して表現することが課題点である。	
学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）		進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	「問題データベース」を活用し、既習事項の復習を行ったり、学力学習状況調査やたしかめテストで課題のあった類似問題に取り組む。算数の割合の問題については重点的に取り組む。	B	既習事項は全員がたしかめテストA問題の80%以上の正答にする。割合の問題にスタディタイム（月6補充学習）の時間を使って取り組む。
①	くすのきタイム（朝のモジュール学習）やスタディタイム（月6補充学習）を活用して、既習事項の復習を、県到達度テストやたしかめテストを使って行う。	A	毎週月曜日のくすのきタイムやスタディタイムは、各学年「算数を中心とした復習タイム」として、問題データベースやふりかえりプリント集を活用し、問題に取り組む。
②	家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の時間や読書の時間を増やし、テレビやゲームの時間を減らす。	B	家庭への呼びかけを再度行い、積極的な自主学習への取り組みを奨励する。また、家庭学習の時間を定期的に点検する。
③	鶴山中ブロックで共通して取り組んでいる「チャイム同時スタート・終了」「ユニバーサルデザインによる視覚化・焦点化・共有化の授業」に継続して取り組む。	A	毎日の学習の中で自分の考えを書く活動を多く取り入れ、それをもとにペアグループなどで話し合ったり、全体に発表したりすることができるようにする。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」